



第28号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈亀山 九島 禪院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住職 奥田 啓知 (智證)

大阪にオリピックを！
 九条に中華街を！

二十一世紀まであと二年！

『阪神・野村』 監督 誕生

盲虎よ日覚めよ！

野村克也監督が阪神タイガース監督に就任しました。連日新聞紙面やスポーツニュースで報道され、まるで来シーズンに優勝が確定したかのような騒ぎです。

パース、掛布、岡田など圧倒的な攻撃力で日本一に輝いた昭和六十年以来、低迷を続ける阪神タイガースには、関西における影響力の大ききから、その期待感も大きなものがあります。野村克也監督は、平成二年からヤクルトスワローズの監督として三度のプロ野球日本一に輝き、その手腕は高く評価されています。

「ID野球（IMPORTR DATA）」と呼ばれる情報を最重視する戦法は、近代野球を情報戦と定義し、スコアラーに徹底的にデータの収集を命じ、集まったデータを緻密に分析、解読して戦術を編み出す、まさに頭をつかった野球こそが野村野球の神髄といえます。また、すでに盛りすぎたかにみえた選手をよみがえさせる独特の選

手起用法は「再生工場」と称され、他チームを追われた選手を次々受け入れ、隠れたパワーを巧みに引き出すという実績をあげました。

阪神タイガースは関西では根強い人気があるため、「勝っても、負けてもタイガース」というぬるま湯につかり、危機感が薄く、ただ投げて打つだけの野球を続けてきました。933三振はリーグ最多、28盗塁はリーグ最少と今季の数字に表れているように、選球眼の悪さ、機動力のなさはここ数年指摘されてきた課題です。野村監督の就任早々の長時間にわたるミーティングでも、機動力の強化が課題として打ち出されました。

お釈迦さまは弟子に対しては「対機説法（たいきせっぽう）」といって、説法する相手の性質や能力に応じて、それにふさわしいような方法で教えを説かれました。野村監督も、話し方には定評があり、「野村節」として知られています。昨年の日本シリーズでは、敵西武ライオ

ンズの戦力を徹底的に分析し、敵将の東尾監督が「頭に血が登りやすい」性格と知ると、「口撃」で揺さぶりをかけ、シリーズ前日の監督会議で、それまでの「口撃」を無視していた東尾監督が握手を拒否したと知るや「こちらの口撃にのって来た」とほくそえんだ話は有名です。

野村監督の「対機説法」で、彼の野球観ひいては人生観を選手一同に浸透させ、「万年Bクラス」意識に染まった選手たちの意識改革をなし遂げ、来シーズンこそAクラス入りして優勝を争うチームに成長してほしいと願っています。

小柄、大阪ドームができていらい近鉄を応援してきました。是非とも阪神タイガースともどもセパ両リーグのペナント争いに加わり、九条の、いや大阪のひろく関西の景気を盛り上げてほしいものです。



第五回修養会ご報告

龍溪禪師ご事跡訪ねおえる

ぐずついた天気が続き心配された修養会でしたが、十月二十五日(日)当日は、秋晴れのよいお天気に恵まれました。当院ご開山龍溪禪師のご事跡を訪ね、ご遺徳を偲ぶ旅ですが、今回で五回を数え、当初の予定は全て拝塔しました。総勢五十名の参加者一同無事楽しい一日を過ごすことができました。また、今回も多くの皆様にお申し込みを頂きながら、定員を大幅に上回ったためにご参加頂けなかった皆様に改めてお詫び申し上げます。

四の庭石に見えない一つの石を心の眼で見えて?どこから見ても見えないように配置されているようですが・・・、京都市内最大の境内地をほこる龍安寺をあとにしました。次に拝塔した靈雲院さまでは、則竹秀南老大師みずから出迎えを頂き、早速本堂で心経一卷諷誦。侍者の和尚様より、境内を案内していただきました。

今回は臨済宗妙心寺派大本山の正法山妙心寺塔頭の靈雲院と石庭で有名な龍安寺を拝塔しました。ともに龍溪禪師も晋山された寺院です。とりわけ、妙心寺派を追放されたご開山にとっては、因縁深い寺院といえるかもしれませ

まず参拝したのが龍安寺、国宝の石庭を鑑賞し、大小十の御幸の間(重要文化財)や書院庭園を拝観した後、本堂で、京都大学名誉教授 柳田

聖山先生より「龍溪禪師の遺徳」についてのご講演を頂きました。

今から三百三十年代の水難で、まさに示寂にのぞんで詠まれた龍溪禪師の遺徳二十八文字には、禪師の中国に対する熱い憶いが詠み込まれておるとの先生のご高説を拝聴し、初めて耳にする事ばかりでとても参考になりました。

その後、嵐山「嵯峨野」にて昼食の湯豆腐料理を頂き、天竜寺裏の渡し場より対岸に渡りました。船頭さんの竿さばきよろしく、川面に吹く風の気持ち良かったです。行き交う保津川下りの舟を尻目に対岸に上陸。龍溪禪師とも縁のある角倉了以の建てた大悲閣千光寺までは二丁ほど山道を登らねばなりません。

ご高齢の参加者も多く、何人かはそのまま舟で戻られましたが、初めて参拝した方も来年は明石海峡大橋を渡り



柳田聖山先生の講演を聞く (靈雲院本堂にて)

淡路島西淡町にあ俳画寺、黄葉宗雙児山国清寺を訪ね、職の直原玉青画伯の書かれた龍溪禪師水定図を門前の俳画記念館で鑑賞し、海の幸を賞味するなど、観光場所も多く取りたいと考えています。

大阪にオリンピックを!

九条に中華街を!

二十一世紀まであと二年!

年 忌 表 (平成11年)

回 忌	死 亡 年
1 周 忌	平 成 1 0 年
3 回 忌	平 成 9 年
7 回 忌	平 成 5 年
13 回 忌	昭 和 6 2 年
17 回 忌	昭 和 5 8 年
25 回 忌	昭 和 5 0 年
33 回 忌	昭 和 4 2 年
50 回 忌	昭 和 2 5 年

※来年度の年忌表をかかげます。お位牌や過去帳などでご確認下さい！尚23回忌・27回忌・37回忌・43回忌・47回忌などは禅宗や当地域では執行しません。

年忌法要は祥月命日前の土曜・祝日曜にされること多く、他家の法事と重なり、ご希望に添えない事もあります。遅くとも1カ月前までに当院まで、ご希望の場所などのご連絡をお願いします。

ご法事などに龍燈会館(椅子席)・本堂をご利用下さい。精進落としの料理・酒類なども準備できます。尚、お供物・供花は、できるだけお施主さまでご準備下さい。ご利用の際は詳細については、お寺までお問い合わせ下さい。

十一月二十九日(日)午後二時より龍燈会館で、一蝶会の初めての発表会が開催されました。落語・漫才・漫談など総勢十名が日頃研鑽した成果を觀てもらいました。住職も、学生時代にとった杵柄を思い出し落語「世帯念仏」の一席を熱演しました。とりは会の顧問である桂一蝶師匠の落語で締めくくり、終演後お客さん共々懇親会で盛り上がりました。

○一蝶会寄席開催される——住職も熱演！——

檀信徒の皆さまへ

奉 納 抄

中央香台寄進
(平成十年九月)
本堂脇侍仏真前に中央香台を新調しました。あいづらい逝去された姑さまとご主人のご冥福を祈り、都島区の大内敏弘殿よりご寄進の申し出があり新調しました。厚く御礼申し上げます。

なんでも 質問箱

(問い) 年回法要の心得を教えてください。

(答え) 年回法要とは亡くなった翌年の祥月命日(月日が同じ)に一周忌二年目に三回忌というように何年か毎に勤めます。最近は祥月命日が休日でない場合、早めの休日に勤める事が多くなりました。年回法要の心得ですが、私たちがこの世に生まれ、幸せに暮らせるのは、ご先祖のお蔭であることを忘れてはなりません。そうした身近なご先祖さまに感謝・報恩の気持ちをおあらわす行為が、子・孫としての供養心です。その供養の心を法事のかたちで表すのが、先祖供養です。

ご法事の場所が自宅であらうとお寺を借りて法事を営もうと供養の心を忘れてはなりません。どうすれば、ご先祖さまがお喜びになるか考えるべきです。お墓参りにしても、草の一本を抜くなど、お掃除をしてこそ供養になるのです。年回法要も同じで、供物・供花や粗供養を施主みずから準備してこそ供養になるのであって、お寺さんまかせで、汗をかかないなどお供えはかです。ご先祖さまに代わって参詣者の方々に喜んでもらえるよう努めてこそ功德を積んだといえるのです。

二十一世紀にはいる平成十二年は当院創建三百三十年です！

● お地藏さん

ある日のお月参りでのことです。団地の階段を上
がろうとすると、前で遊んでいた4、5歳の子供た
ちが、小納をみつけて「ほとけさんが歩いている」
と呼びかけました。「ほとけさんどちがうねん、和
尚さんだよ。仏さんは死んだ人のこと、和尚さん
は生きてるだ。仏さんのお陰で生きてるのん？」
と教えて、お檀家宅を訪ねました。

僧侶のことを一般には、ご住職、お寺さん、院主
(いんじゅさん)やお坊さんと呼びますが、それ以
外には、和尚(おしょう、律宗ではわじょう)浄土
系や日蓮宗では、上人(おしょうにん)。禅宗では
住職の居間の呼び名をとり方丈(ほうじょうさん)
と呼びます。浄土宗や日蓮宗の由緒寺院の住職を御
前様(ごぜんさま)、禅宗の印可証明を受けた高僧
を老師(ろうし)、師家(しけ)。真言宗や天台宗
の密教修行を積んだ高僧を阿闍梨(あじゃり)とい
います。また、管長クラス以上の高德の僧のことを
呼ぶ場合には、下(げい)かをいいます。下は獅子
の意味で、仏さまのすわる座を獅子座とよんだこ
ろから、高僧のすわる座が獅子座と名付けられ、そ
か下(げい)の呼称が出来たようです。

四国出身のお檀家さんに、よく「いんげんさん」
と呼ばれ、宗祖隠元禅師と勘違いし汗をかいたこと
がありました。聞くと「院下(いんげ)さん」と
ご郷里では呼ぶのだそうです。

お檀家宅のお参りをすませ、階段をおりてくると
今度はさっきの子供たちが「お地藏さん、お地藏
さんが歩いている」と呼ぶで
はありませんか。そうい
えば、不況下の昨今、テレ
ビの「お自動機」の宣
伝も、自動加入が、こ
な所にも、世間の不況、
景気が吹いているのだ
とつくづく感心しました。



ご
案
内

会 禅 統 宗 通 円

毎月 18日(観音命日)
午後 6時半～8時半

場所 当院本堂と坐禅堂
場 所 当院本堂と坐禅堂
坐 禅 指 導 黄 檗 山 萬 松 院 奥 田 仁 芳 老 師
提 唱 龍 溪 禅 師 「宗 統 録」

お知らせ

◎のぼり奉納の募集

「南無観世音菩薩のぼり」を入れ替
えます。一年間境内に掲げます。昨年
同様お施主さんを募ります。為書きと
施主名を墨書します。ご希望の方は寺
務所まで、お声をかけてください。

一旗 金一千元

編集後記

▼はや師走となりました。平安時代、貴
族たちは年の瀬に、一年の罪障を帳消し
にする「仏名会(ぶつみょうえ)」を修
し、僧侶を招き、過去・現在・未来の三
世の諸仏の名号を代称させた為、僧侶に
依頼が殺到したことに由来するそうです
▼秋彼岸以降、講演会(本田婦人会の依
頼)や修養会(事前事後の挨拶)一蝶の
会(小咄の会の発表会)など行事が目白
押しで多忙を極めました。訪中団への参

加を取りやめたことが幸いし、何とかこ
なすことが出来ました。

▼人前での話は慣れてるとはいえ、講
演会や一蝶会での落語は大きなプレッ
シャーでした。でも、新しいことにチャレ
ンジすることは、新しい自分を見つける
こと。

▼来年は卯年です。私の当たり年で四十
八歳になります。何事にもおじけず挑戦
し、新しい自己を発見しましょう！

墓地管理費のご納付をお願いします。
墓参の折、郵便為替でも結構です。

二十一世紀にはいる平成十二年は当院創建三百三十年です！